

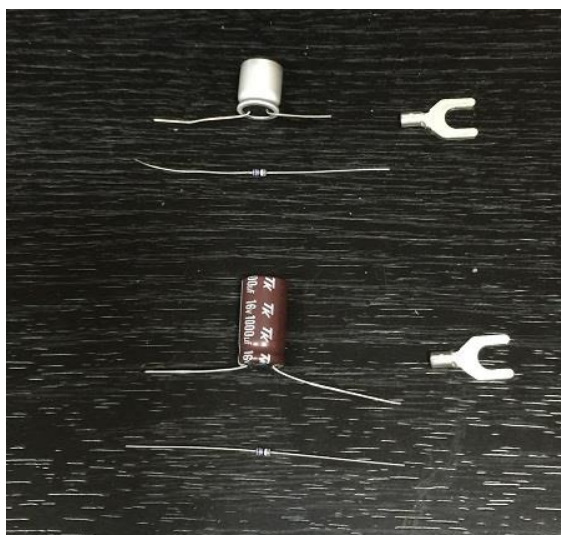
電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(20)(HP 収載)  
—仮想アースへの適用(20)—

1. 始めに

これまでにアースにコンデンサーと抵抗を接続したり、さらに旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の適用を行ってきました。今回もオーディオ仲間から追加でコンデンサーと抵抗をもらい受けましたので、同様の検討を行います。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

今回は、アース端子にセットすることのできる仮想アースとそれへの NRF-005T の適用を検討します。そのために準備したのが、下記のパーツです。



これらで下記のコンデンサーと抵抗を組み合わせを実施します。

A) OS コンデンサー+金属皮膜抵抗 39Ωセット Y ラグ端子 (写真左) および NRF-005T 巻き付け (写真右)



B) 電解コンデンサー1000 $\mu$ F+金属皮膜抵抗 39Ωセット Y ラグ端子 (写真左) および

**NRF-005T 巻き付け (写真右)**



これとは別にスチロールコンデンサーと抵抗を Y ラグ端子につけたものもいただきました。

**C) スチロールコンデンサー+金属皮膜抵抗 39Ω セット Y ラグ端子 (写真左)**

および NRF-005T 巻き付け (写真右)



以上の仮想アースを下記のとおり名づけます。

- A) →仮想アース 14A 号機
- B) →仮想アース 14B 号機
- C) →仮想アース 14C 号機

上記についてそれぞれ NRF-005T を丸めてコンデンサーに被せたりして、EMT981 のアース端子に接続し、3 種のコンデンサーの比較試聴を行います。

試聴は、聴きなれた CD の再生で音質の変化を確認します。

**Evidence EVCD015**

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他  
フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)  
グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

**harmonia mundi KKC-5976**

モーツァルト他 ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452 他  
アンサンブル・ディアーロギ

**Archiv POCA-1132**

モーツァルト・ハイドン・グルック オペラアリア集  
アンネ・ゾフィー・フォン・オッター (メゾソプラノ)  
トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンソート

### 3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

上記 3 種の仮想アースのそれぞれについて最初に EMT981 のアース接続なしで聴いておき、仮想アース接続、ついでコンデンサーに NRF-005T を巻いたものを被せて視聴します。

A) の 14A 号機仮想アースの場合、次のようになりました。

ベートーヴェンのチェロソナタでは、仮想アース A) を接続しますと、音が緻密になり、チェロは滑らかに、ピアノは響きが豊かになります。NRF-005T を被せますと、大きな変化ではありませんが、同じ方向の変化があります。

モーツァルトのピアノと管楽器のための五重奏曲では、仮想アース A) を接続しますと、フォルトピアノの打鍵の音に芯が出て、古楽器の木管のユニゾンの濁りが薄らぎます。NRF-005T を被せますと、大きな変化ではありませんが、同じ方向の変化があります。

オッターのオペラアリア集では、仮想アース A) を接続しますと、オッターの歌唱の微妙な表現が前に出てきて、バックのイングリッシュコンソートのアンサンブルが明瞭になります。NRF-005T を被せますと、その傾向が強まります。3 枚の CD では、もともと変化が分かりやすいです。

B) の仮想アース 14B 号機の場合、次のようになりました。

ベートーヴェンのチェロソナタでは、仮想アース B) を接続しますと、響きが豊かになり、音に勢いがでてきます。NRF-005T を被せますと、勢いはあるが粗削りのようなところが抑えられます。

モーツァルトのピアノと管楽器のための五重奏曲では、仮想アース B) を接続しますと、響きが豊かになり緻密さが増します。NRF-005T を被せますと、フォルトピアノの打鍵の音に芯が出て、古楽器の木管も明瞭になります。

オッターのオペラアリア集では、仮想アース B) を接続しますと、オッターの歌唱の微妙な表現が前に出てきて、バックのイングリッシュコンソートのアンサンブルが明瞭になります。NRF-005T を被せますと、その傾向が強まります。3 枚の CD では、もともと変化が分かりやすいです。

C) の仮想アースの 14 号機場合、次のようになりました。

ベートーヴェンのチェロソナタでは、仮想アース C) を接続しますと、チェロの音が滑らかになり、ピアノの響きが明瞭になります。NRF-005T を被せますと、さらにその傾向が助長されます。

モーツァルトのピアノと管楽器のための五重奏曲では、仮想アース C) を接続しますと、フォルテピアノも古楽器の木管も明瞭さが向上します。NRF-005T を被せますとさらにその傾向が助長されます。

オッターのオペラアリア集では、仮想アース C) を接続しますと、オッターの歌唱の表現も、バックのイングリッシュコンソートのアンサンブルも明瞭になります。NRF-

005Tを被せると、さらにその傾向が助長されます。3枚のCDでは、もっとも変化が分かりやすいです。

以上から、3種のコンデンサーとも効果があることが分りましたが、その特徴を把握するためにもっとも変化が分かりやすかったオッターのオペラアリア集で、NRF-005Tを被せたA)、B)、C)の仮想アースを聴き直してみました。C)はもっとも繊細な表現が得意なようで、B)は勢いがありますが、音が曖昧になるところがあり、A)は表現も緻密でありながら、響きもよく出ています。

今回作成した仮想アースの使い道ですが、14C号機については、Crystal Epに連結した10000 $\mu$ F電解コンデンサーを外して入れ替え、ざっと聴いたところでは良い効果が期待できそうなので、ここに連結してロングランで試聴していきます。



14A号機と14B号機については、フォノイコライザーZANDEN Model 120とBrooklyn DAC+に連結した10000 $\mu$ F電解コンデンサーと入れ替える検討を行います。

#### 4. まとめ

EMT981のアース端子において、コンデンサー、抵抗、NRF-005Tなどを組み合わせた3種の仮想アースの効果を認めましたが、3者3様の特徴があることも分かりました。

以上